科目ナンバリング	U-LAS22 10004 SO48						
授業科目名<英訳>	フランス語ＩＢ（文法） F1107,F1108,F1109,F1110,F1111,F1112,F1114 Elementary French B			担当者所属職名・氏名	非常勤講師 井上　卓也 非常勤講師 池田　潤 非常勤講師 青山　千紗 非常勤講師 西山　由紀 非常勤講師 柴田　秀樹 非常勤講師 坂井　礼文 人間・環境学研究科 教授　西山　教行		
群	外国語科目群			分野(分類)		使用言語	日本語及びフランス語
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（外国語）（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・後期	曜時限	月4/火4/火5/木2/木4/金2	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

1 フランス語でコミュニケーションをするのに必要な文法の基礎を学ぶ。
2 フランス語の文法学習を通じて多極的世界観を身につける。
(1)フランス語と日本語・英語との相違点に気づく。(複言語学習)
(2)フランス語を話す国民の文化や思考法を知る。(複文化学習)

[到達目標]

１）文法を身につけ、フランス語を読んで理解できるようにする。
２）発音と綴り字の関係を学び、フランス語を声にだして読めるようにする。
３）フランス語を話すための基礎力を身につける。

[授業計画と内容]

この講義はフィードバック（方法は別途連絡）を含む全15回で行う。

1 教材は全部で20課ある。各課は,冒頭の複言語・複文化に関係している「テキスト」と文法事項の説明と練習問題で構成されている。後期は9課から始める。
2 授業時間だけでは、フランス語の文法をマスターすることはできない。授業時間外にもネット上でも自律学習する。ひとつの課につき教室外でも60分から90分の自律学習をする必要がある。
3 授業は、CALL教室で教師とともにする学習と教室外でする自律学習のブレンデッド形式で行う。

4 毎回1課ずつ進み,各課の終了後に小テストを行う。小テストは自己採点し、その結果の自己分析と学習過程に関するポートフォリオも毎回作成する。

[履修要件]

「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。

[成績評価の方法・観点]

成績評価は、後期末におこなわれる統一試験、小テストの点とポートフォリオ作成の熱心さに基づいておこなう。つまり、学習結果だけでなく、学習過程も評価の対象にする。詳細は授業中に指示する。

フランス語ＩＢ（文法） F1107,F1108,F1109,F1110,F1111,F1112,F1114(2)へ続く↓↓↓

フランス語ＩＢ（文法）F1107,F1108,F1109,F1110,F1111,F1112,F1114(2)

[教科書]

大木・西山・グラズイアニ『三訂版　グラメール・アクティーヴ―文法で複言語・複文化―』（朝日出版社）ISBN:978-4-255-35233-6

（関連ＵＲＬ）

https://text.asahipress.com/text-web/france/active_call/(三訂版　グラメール・アクティーヴ)

[授業外学修（予習・復習）等]

授業時間外にもネット上でも自律学習する。ひとつの課につき教室外でも60分から90分の自律学習をする必要がある。授業では、教科書の他に各自上記のサイトからダウンロードした教材 (サブノート形式の補助教材と確認練習解答用紙)を使う。

[その他（オフィスアワー等）]

[主要授業科目（学部・学科名）]